

## EMT981 再生系の再構成(20)

### —ハイドンを聴く(11)—

#### 1. はじめに

前報(3)において EMT981 から Truphase を経て 300B アンプまでのバランス伝送が実現した機会に、手持ちの CD を聴き直していくことにしました。今回も、しばらく聴いていないハイドンの作品を聴いていきます。

#### 2. EMT981 の試聴方法

EMT981 の再生では、前報(7)と同様に前報(2)の再生ルートとします。

EMT981(\*)→TruPhase→.300B

\* : GPS-777 より CCD-6 経由でクロック入力

古い録音で定位などに違和感が感じられるときは TruPhase で位相を反転します。  
再生する CD はハイドンの交響曲です。

DORIAN Record DOR-90191

ハイドン 交響曲第 35 番

交響曲第 23 番

交響曲第 42 番

John・Hsu 指揮 Apollo Ensemble

TDK TDK-AD001

ハイドン 交響曲第 43 番

鈴木秀美指揮オケストラ・リベラ・クラシカ

#### 3. EMT981 の試聴結果

Hsu 指揮 Apollo Ensemble 盤は、ハイドンの比較的初期の交響曲 3 曲ですが、ソフトで優雅な音で、軽やかで爽やかな演奏を楽しく聴けます。

鈴木秀美指揮オケストラ・リベラ・クラシカ盤は、ハイドン以外の作曲家の曲も収録されています。この盤もハイドンの比較的初期の交響曲ですが、歯切れよく軽やかで爽やかな演奏です。

#### 4. まとめ

クロック入力した EMT981 からのバランス接続の効果で、二つの盤ともデジタル臭さを感じさせない、軽やかで爽やかな演奏が楽しめます。

以上

